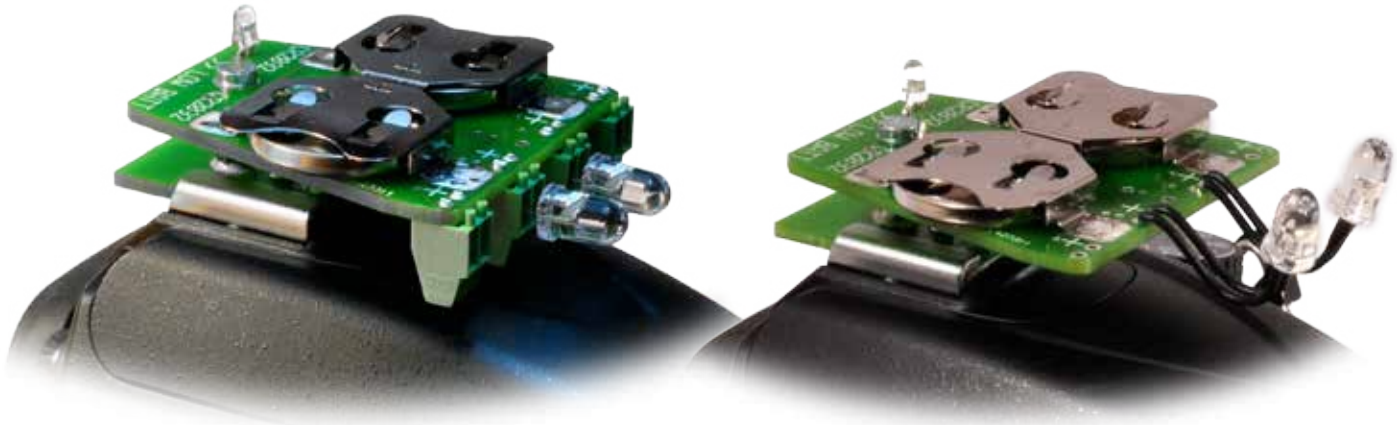
LED Strobe System 2

LSS2 (LED ストロボ システム 2)



２つのボタン電池によって電力を供給された”LSS2”は
内蔵ストロボのチャージと関係しないので、カメラのバッテリーを節約することができます。
４つの LEDを付加した状態で、1万ショット使用するとローバッテリーをLEDで警告します

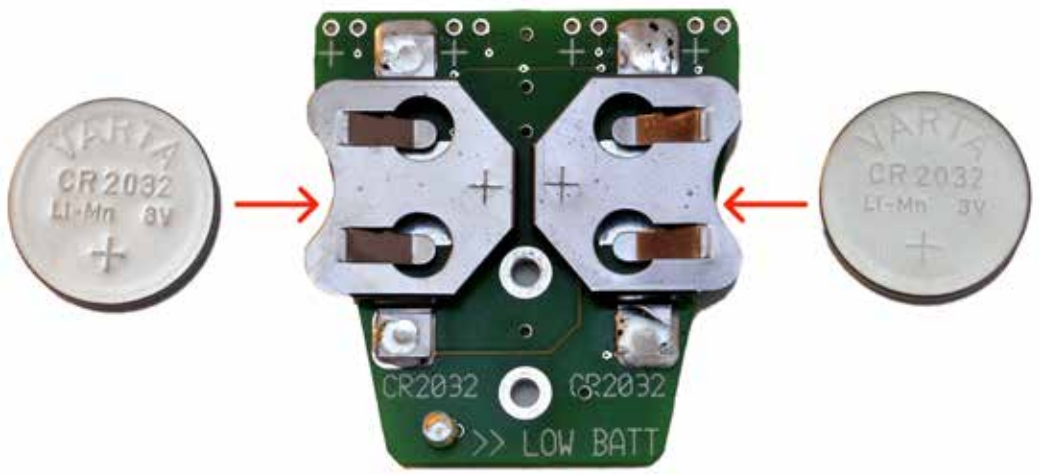
オペレーション

LSS2カメラの固定する時、ホットシューに従って”LSS2”を滑らせます。
バネ接点は容易に破損します。バネ接点を樹脂のヘラで引っ込ませてスライドさせると容易です。（接触不良防止）
(インシュロックの先端など)

少しボディーに従ってホットシューを装着したら、”LSS2”をぴくぴく動かしてください
右ー 左 ー上下、それでLSS2はカメラの上にスムーズに滑ります。

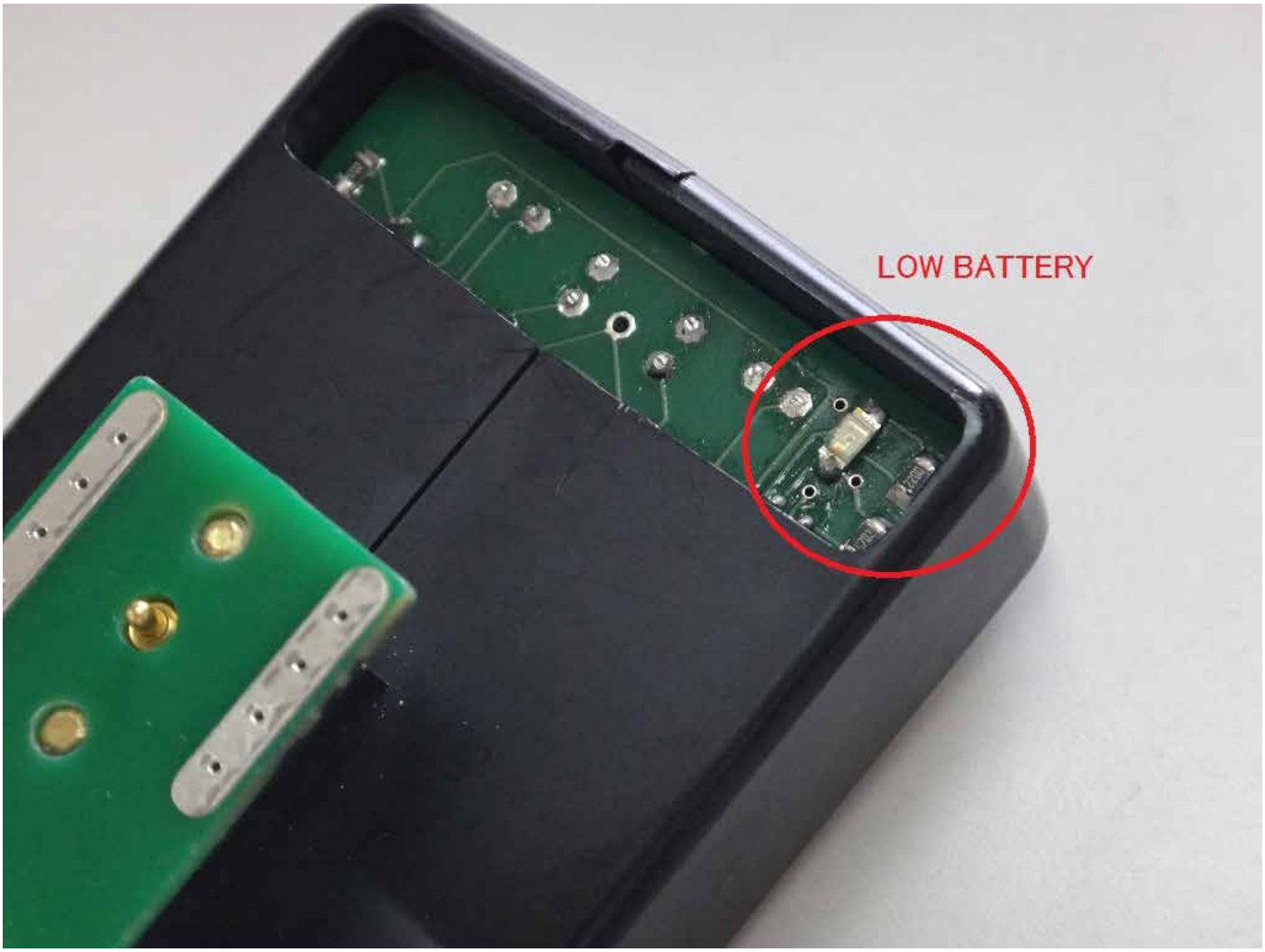
LSS2は外部ストロボのマニュアルモードのみで稼働します。そして TTL機能はありません。

バッテリー2個 x CR2032は正しい向きで取り付けます。プラス面を上にして挿入されなくてはなりません。
バッテリーが挿入されるとLSS2は起動します。そして所定の動作テストを行います。
LSS2は僅かな消費電力なのでスリープモードに入りません。

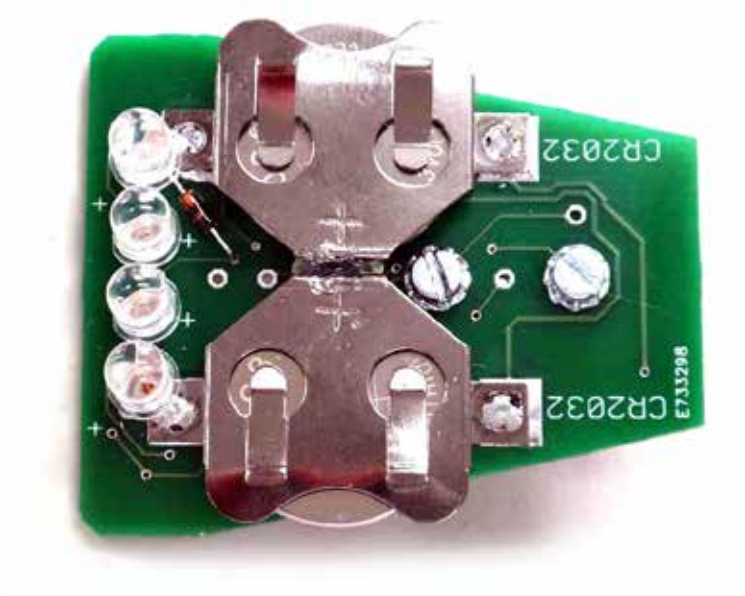


使われないとき、バッテリーはLSS2の中に挿入されたままでも、殆どエネルギーを消費しません。
しかしながら、非常に長時間使われないときは、バッテリーを外しておきましょう。
・バッテリーを抜き差しする事でシステムがリセットされます。具合が悪い場合リセットを行うと回復することが多いです。

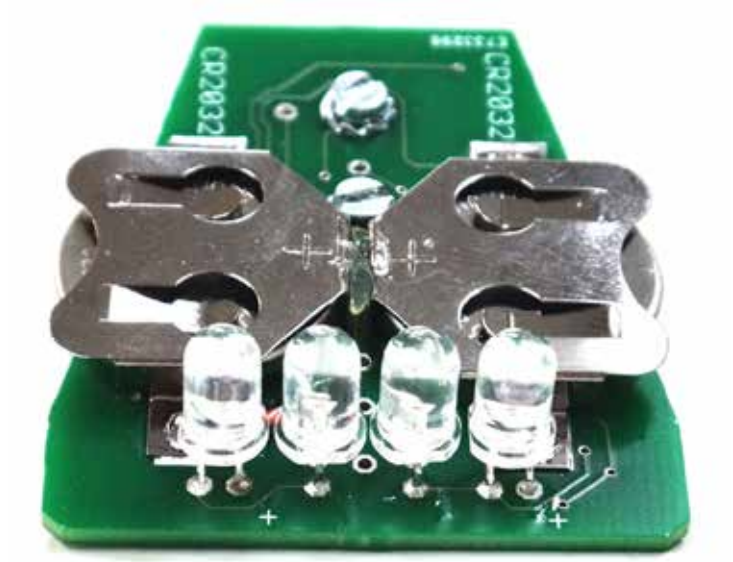
バッテリーがほとんど空になると、ローバッテリーのLEDが４回点滅します。
電圧がそれぞれのストロボ発光の後にチェックされます。
あなたがLSS2を使う前に、ローバッテリーになっていないか調べるためにバッテリーを抜いて4秒後に挿し直しストロボをテストしてください。

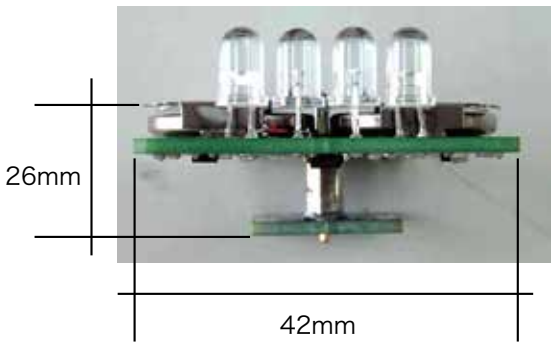


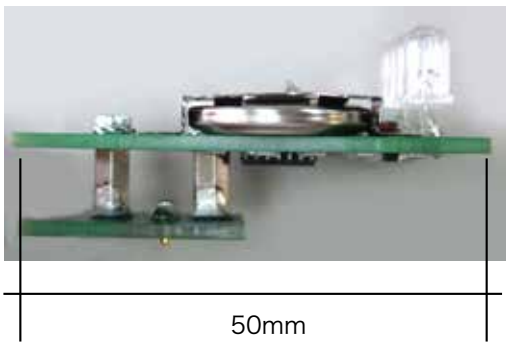
LSS2

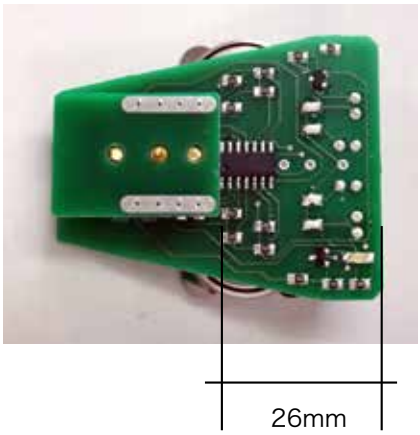


仕様

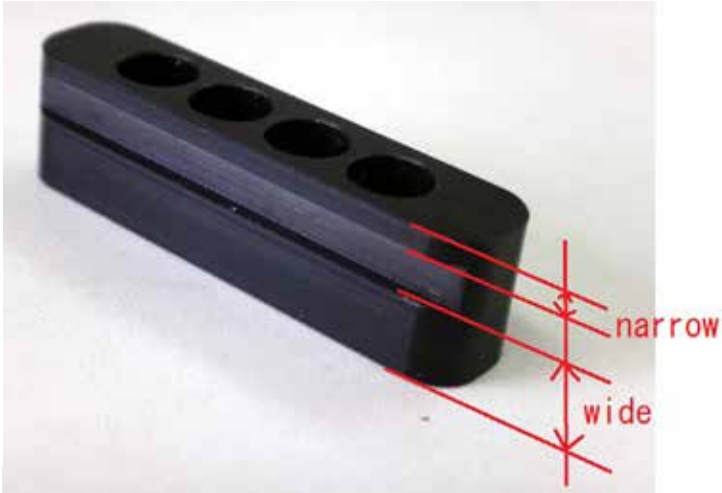








LSS2をカメラに装着した例



LSS2の組み付け

LEDにLEDブラケットをかぶせます。
LEDブラケットには向きがあります。
溝の位置が違うのですが、溝が上になる向きで
取り付けて下さい。
（逆にするとハウジング天井に干渉します）

LEDブラケットを付ける前

LEDブラケットを付けた後

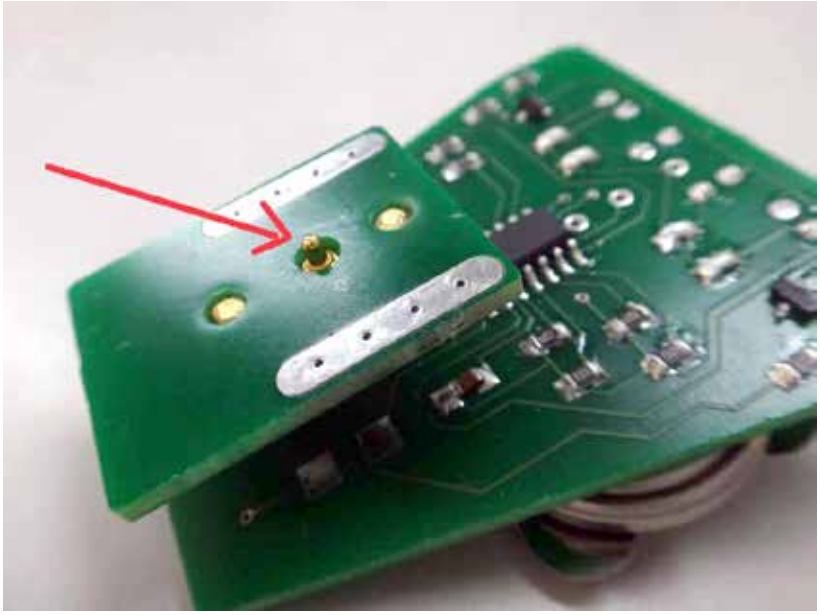
カバーを外した状態

・カバー　*2
・LEDブラケット　*1
・LSS2　*1

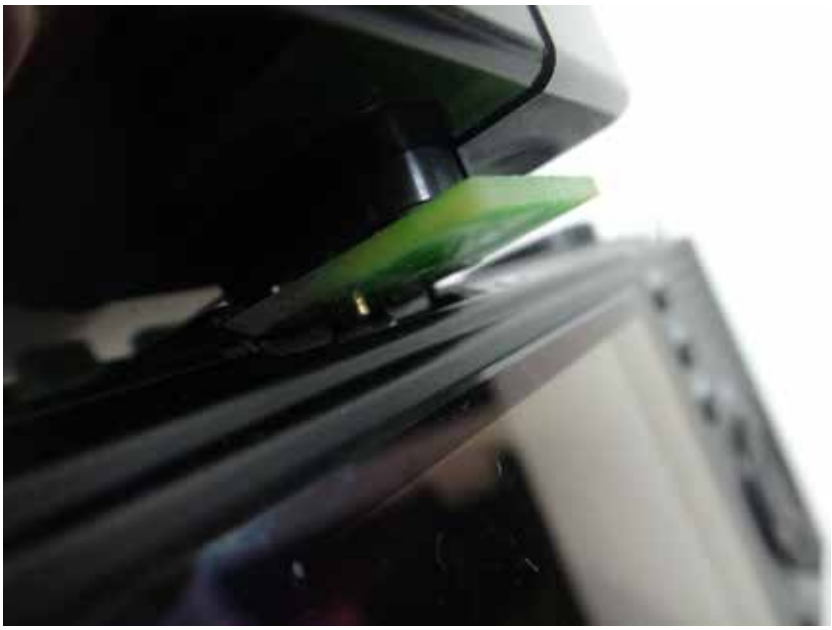
LEDにLEDブラケットを被せたところ

LSS2外観(上面)

PUSHと書いたところを押す事で、ケースを外す事が出来ます。(やや力が要ります)



LSS2をホットシューに挿入する時、樹脂のヘラなどでLSS2のバネ接点を押し上げながら挿入すること。(バネ接点が入りにくい場合のみ。
LSS2では殆ど問題なく入ります。
インシュロックなどを利用)



バネ接点がホットシューの段差に干渉したまま押し込むとバネ接点が壊れることがあります。
何も補助しない場合、カメラとバネ接点の当たるところに若干の傷が付きます。

マイナスドライバーの先でバネ接点を押すとカメラとショートしてLEDが激しく点滅するので行わないこと。
(LSS2が壊れたり、バッテリー寿命が著しく短くなる。カメラの日付が変わることがある)

・LSS2はケースに覆われていますが、塩水がLSS2のバッテリーや基盤に付着すると機能停止します。
・最悪の場合ユニットが機能しなくなります。
（バッテリーを外し、42%～100%のアルコールで洗浄して2日ほど乾かすと復活することが多い）
（その際、バッテリーは新品に交換せねばなりません）

・セッティングを完璧に行っても、カメラ、LSS2、ハウジングに振動を与えながら移動すると、
接触不良などで動作しないことがあります。（ハンドキャリーが望ましい）

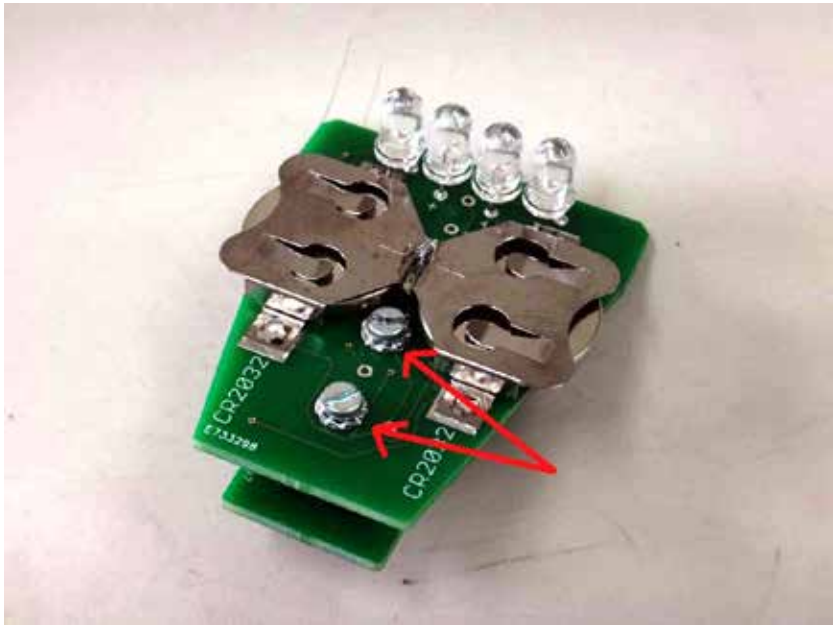
・エントリー直前に外部ストロボが動作するか確認して、慎重にエントリーすること。（超重要）
（外部ストロボが動作しないことが判ったとき、対応できる場所にて確認すること）

・ボートからのエントリー時に、ハウジングを水面に打ち付けるとLSS2が接触不良を起こして
動作しないことがあります。

・カメラのバッテリーが少なくなったり、カメラがハングしたり、LSS2が異常になると激しく点滅することが
あります。（外部ストロボも1秒弱で連射します）

・その場合、外部ストロボの電源をOFFにして水中ストロボ撮影を諦めてください。
（カメラはハウジングの電源ボタンではOFF出来ない事がある）
（エキジットしてからカメラのバッテリーを抜き取るとリセットされます。）
（またはLSS2がバッテリー切れでOFFになっているので、予備のCR2032バッテリーを持つこと）

・水中ストロボ撮影は諦めねばなりませんが、LEDライト使用するストロボ無し撮影は続けられます。



しばらく使用しているとネジが緩んでいることがあります。そのままでは正常に作動しません。
定期的にネジを締めてください。
（その改善のため、バネ座金を装着しましたが、
動作不良時にはその緩みを点検して下さい）

・LSS2のリサイクル時間は1/6秒なのでカメラの連射に外部ストロボも可能な限り連射します。
（外部ストロボをフル発光させていない場合。　通常3連発くらい）
・シグマのdpシリーズとLSS2とINONストロボの組み合わせでシャッタースピード1/1000秒くらいまでシンクロします。
それにより被写体ズレの殆ど無い写真が楽しめます。
・LSS2は動作しなくなったり、動作が不安定な場合、バッテリーを抜いてリセットしてみると良いでしょう。
・久しぶりの使用の場合もバッテリーを抜いてリセットすると良いかも知れません。
・ネジの緩みかも知れないので、上記ネジを締めてみて下さい。

それらのポイントを守ってLSS2を末永くお使いください。